

☆本時の学習指導（第5・6時間／全8時間）

(1) 主題名 「問題解決のための課題を設定し改良・修正を加えよう！」

(2) 指導目標

- ・見方・考え方を働かせ問題を見出し、課題設定し構想図を記入できる。【工】
- ・プログラムの動作確認、改善・修正ができ、安全で適切なプログラム制作ができる。【技】

(3) 本時の評価規準

【評価の観点】 評価規準	判定の基準			評価方法
	A 十分満足	B おおむね満足	Cの生徒への手立て	
【生活を工夫し創造する能力】 ・見方・考え方を働かせ問題を見出し、課題設定し構想図を記入できる。	目的や条件に基づき、課題を設定でき、アクティビティ図等で表現している。	目的や条件に基づいて課題を設定でき、解決の手順を付箋紙で構想している。	目的達成に必要な条件を確認する。	行動観察 ワークシート 自己評価
【生活の技能】 ・プログラムの動作確認、改良&修正ができ、安全で適切なプログラム制作ができる。	作成したプログラムを確認し、最適なものとなるように改良・修正することができる。	プログラムの動作確認ができる。	操作方法の確認をする。	プログラム ワークシート

(4) 本時の展開

過程	生徒の活動	教師の指導・支援	学習形態	準備・備考	評価方法 【評価規準】
導入 10分	・前時の確認 ・前時に見出した問題の確認する。 ・本時のねらいを確認する。	・前回の学習内容を確認する。 ・導入プレゼン提示。	一斉	プレゼン資料 フラッシュカード	問題解決のための課題を設定し改良&修正を加えよう！
	・学習の流れを確認する。	・本時のねらい、班で活動することを伝える。	グループ		
展開 35分	・ホスト&クライアントを決める。 ・問題解決のための課題を設定する。 (5分) ・課題解決の情報処理手順を話し合う。 (5分) ・構想をアクティビティ図で表現する。 (5分) ・実習プログラム(会話4)を実装する。 ・グループでプログラムを作成する。 (20分) ・早いグループは動作確認&修正を加える。	・IPをワークシートに記入させる。 IP入力ミスがないか確認し、通信トラブルがないか再確認する。 (トラブル時座席移動) ・具体的な発想を促し、支援する。 ・付箋紙で構想とプログラムの流れを作る助言とフラッシュカードの掲示を行う。 ・設定した課題をワークシートにアクティビティ図で記入させる。 ・演習プログラム(会話4)配布、実装の支援を行う。 ・机間巡視を行いプログラム制作のヒントやアドバイスを伝え、支援する。	各個人 グループ	PC、USB ワークシート Wi-Fiルータ 付箋紙 構想貼り付け表 ワークシート スクラッチ  	【生活を工夫し創造する能力】 ・見方・考え方を働かせ問題を見出し、課題設定し構想図を記入できる。 【生活の技能】 ・プログラムの動作確認、改善&修正ができ、安全で適切なプログラム制作ができる。
まとめ 5分	・授業の振り返り、自己評価をする。 ・次時確認をする。	・実生活との繋がりを伝え、まとめをする ・できたこと、できなかったことなど具体的に記入させる。	一斉 各個人	ワークシート プレゼン資料	